

知と稚と痴のパワー全開で

It's fun to live!

～会員の皆様の潜在的魅力を引き出したい～



安部 光壹
Kouichi Abe

平成28年度会長

①この度、図らずも福岡南ロータリークラブの会長の大役を仰せつかり、何と答えていいのか、緊張と悲鳴と思考停止が錯綜しているところです。

②そもそも私は、会長になる柄ではないのは私自身がよく知っているのですが、やはり、ここ一番頑張らないと今までお世話になった方々や、尊敬する諸先輩に申し訳ないという気持ちで1年間やろうと思っています。

③私は、実際、1991年入会以来約25年間、福岡南ロータリークラブにお世話になりましたが、段々経験を積むごとにロータリーは素晴らしい組織だなあと愛着を持つようになりました。

④私は、御承知のように、河原剛会長（2001年～2002年）の時と、青柳泰秀会長（2010年～2011年）の時に2回幹事をさせてもらいました。2回とも突然の御指名で緊急登板でした。しかし、その経験のおかげで、ますます福岡南ロータリークラブが好きになりました。

⑤ロータリーの存在やロータリーの魅力とは一体なんでしょうか。私は、職業をもった人たちが直ちに何かを奉仕しようとするのではなく、何かをしなければいけないが何をしようかと考えることで始まった団体だという点が素晴らしいと思います。強い社会的使命はあるものの、まずお互い語り合い、そして、職業を通じて自分でできる範囲の中で頑張る。このアイデアが気に入っています。

⑥1905年にロータリーを作ったポールハリスは、6年間の愚行の後、社会的に荒廃したアルカポネの支配する町シカゴで何かをしようと思いました。しかし、具体的な考えが決まらず、まず、異業種4人が毎週集まって話をするところから始まりました。ポールハリスは弁護士ですが、すぐ就職せず各地を放浪してセールスマン、新聞記者、俳優等の職を経て、6年の彷徨

の後シカゴで弁護士事務所を作り、ロータリーを作ったと言われています。

私も 1979 年に弁護士となり、その後 6 年間は某大弁護士事務所のところで働きました。その弁護士は大企業の間をうまくこなしているボス弁（自分のこと）を見て、社会勉強しろと言われてました。それを真に受けて私は殆ど弁護士としての仕事はせず、顧問会社の社員さんたちと麻雀したり飲みにはばかり行っていました。先生はそういう私に呆れられたのか、とうとう私は突然 35 歳（1985 年）の時独立を命ぜられ、いやおうなく一人で仕事先を探し、弁護士のスキルアップに努めざるを得なくなりました。しかし、この 6 年間の愚行（？）が今や大きな財産となっていることは否定できません。全く怠惰な私に、毎年確実に給料をアップしていただいたボス弁には感謝の言葉もありませんが、このような体験がポールハリスと似た体験を持つ自分という思いに至ったのだと思います。

⑦かくして、一応弁護士らしくなりつつあった時に、1991 年 41 歳の時に萬代の小林弘社長と故安部龍夫先生の御推薦で当クラブに入会することができました。

小林さんは、私の色んな愚行を詳細に知っている人物であり、この人をおいて他に私を推薦してくれる人はいません。安部龍夫先生は、私がしばらく当クラブに医師弁護士過剰と言われ入会ウエイティングを余儀なくされた時、中洲のバー（とき山）でしばしばお会いした方でした。そのご縁もあり、推薦人になってもらいました。安部龍夫先生は実に女性とお酒の好きな方で、私と同じ苗字であり、また、私の父と同じ年（龍夫といいながら寅年 1926 年生）ということで、私にとっては父親のような存在でした。

⑧私は当クラブに入会したい願望を持って入会させていただきましたが、この福岡南ロータリークラブの方々には仲々個性的な人々の集まりでした。私は秘かに先輩方を「やんちゃな中年」と呼んでいました。この人たちの個性と接することが毎週の例会の楽しみでした。青年会議所の元理事長さんたちも多く、私が 30 代のころは遠く雲の上の人たちばかりでした。しかし、各テーブルで接してみると、実に気さくで魅力的でした。こういうふうにして私は段々ロータリーが好きになっていきました。

⑨私に転機が訪れたのは、去る大屋麗之助さんがバナーになる 1997 年に南クラブからもどこでもいいから地区委員を出す必要があるというので、私はインターアクト地区委員になった時でした（ノーと言えないから）。

それから、あれよあれよという間に 5 年が経ち、私は地区委員長 2 年も努めました。私は、博多女子高の生徒をはじめ 30 校（？）ある 2700 地区の高校の 1 泊 2 日の研修や 2 泊 3 日の台湾旅行について行きました。インターアクトの高校生

は今時にない素直な子が多く、自ら奉仕活動をしたいと眼を輝かせる子が多いのに胸を打たれました。真夏の夜、冷房もないところで女子高生と徹夜して話したこともありました。どんな話題でもついていこうとして缶ビールを飲みながら体力があるふりをしましたが、やはり朝になると体力が続かずラジオ体操も出来ないほど衰弱しました。

⑩5年間のインターアクト地区委員の活動の後、やっと御役御免になったと安堵した2001年のたしか5月頃、例会に出席すると席が空いてなかったのでセンターテーブルの席に座ると(当時は全日空ホテル)、その席は副幹事が座る席だと戸嶋和夫さんから言われ、一瞬悪い(?)予感が走りました。その後、何日かしてもう亡くなられた河原剛先生(外科医、安部龍夫先生の九大の同期)が、予定していた幹事が亡くなられたので、安部さんにやってくれないかと言われました。もう一生ロータリーの役は巡ってこないだろうと思っていた矢先このような指名を受け、初めて幹事という役職を引き受けました(ノーと言えない)。河原先生とはその年、オーストラリアに行き、台湾に行き、すごく楽しい思い出を作りました。オーストラリアは、昨年行きましたカウラロータリークラブ訪問でしたが、永倉さん、忍田さん、三戸さん、野田さん、小林さん、峯石さん(事務局)、東ロータリークラブの事務局の方、河原先生のお嬢さん2人等と賑やかな旅行でした。

⑪私は幹事になった年から、ロータリーを如何に楽しむかに腐心するようになり、これは海外旅行が友好クラブ委員会を作るのが一番と考えました。その皮切りがオーストラリアでしたが、その後マレーシアのイポーロータリークラブ(野田尚武会長)、香港ロータリークラブ(村山栄一会長)、ニュージーランドのオークランドロータリークラブ(田中浩二会長)、ハワイのワイキキロータリークラブ(岡部信彦会長)と海外のロータリークラブを次々と訪問しました。そこでどういうことをしたかというと、例会に出席し、夜一緒に食事をし、可能であれば翌日一緒にゴルフをするというもので気楽なものです。私にとっては、古賀秀策さんのお世話でプレイさせてもらったワイアライや、ハワイ島で夜中2時間かけて電灯が暗いハイウェイをぶっ飛ばして行った海岸通りのタイ料理の居酒屋(野田尚武先生と)のことが忘れられません(怖かった)。

今は友好クラブも、台湾以外どこにも行っていませんが、誰か私に代わるノリがイイ人に代わってもらって、また、世界中のロータリークラブを訪問する委員会を作って欲しいものです。

⑫その後は永倉会長(当時幹事)から、私に台中西北ロータリークラブ訪問については、永久委員長になれという一言がありましたので、これも引き受けてしまいま

した。これは実に面白いです。あちらのロータリークラブの歓迎ぶりを見ると、これこそロータリーライフだと実感します。一言で言うと、ロータリー活動が仕事、家庭、地域を捲き込んでロータリーの輪になって楽しんでます。私が20年前訪問した台中西北ロータリークラブは約50名くらいでしたが、今は130名くらいです。すごいでしょ！何時まで経っても平均年齢が50歳前後です。ロータリアンも若いが奥様も若い。勿論古い人が辞めていくようなことは決してありません。何がこのような結びつきを続けさせるのか考えるだけでも楽しいです。私は、この台中西北ロータリークラブ訪問がロータリアンになってよかったと感じる時だと言いつづけています。是非、その気になって会員の皆様は複数回訪問をして頂きたいと思えます。

⑬河原剛会長の時の幹事が終わり、友好クラブ委員長としてだけ名を馳せて(!)いた私ですが、2010年再び突然、青柳泰秀さんからお声が掛かりました。正直私は、前の幹事の時に相当したい放題してメッキが剥げたのかと思ってました。また、青柳さんは立派な会社の社長でもあるし、何より元青年会議所理事長ですので恥じ入るばかりでしたが、「幹事としての急な大役は幹事経験をした人がいい」という説得的(?)な勧誘に乗せられ、再び受けることに致しました。私も色んな優秀な若い会員にしてもらいたいという気持ちはありましたが、何せ大変困った状況にありましたし、私なら出来ると青柳さんから言われましたので、ここで断ったら男が腐ると思ひ引き受けました。

しかし、この時も楽しい思い出ばかりでした。周年行事も、定款細則も、会員拡大も、ニコニコ箱も苦にすることなく、楽しい事を優先してやらせていただきました。丁度、その年の10月頃、児島廣事さんの肝入りで、京都ロータリークラブ訪問を企画して(国内の友好クラブ訪問)千宗室に会ったり、祇園で芸姑さんと食事をしたりしました。

⑭こんなふうに楽しいロータリーライフをエンジョイしてきましたが、2014年10月頃突然川原正孝(前会長)さんから、永倉会長の次に会長になって欲しい、嫌だったらその翌年の60周年の時に会長になることになるなどと、親切かつ強制的な勧誘を受け、自分の感情を押し殺して(!)会長になる決意を致しました。

⑮私はこんなふうにロータリーライフを過ごして参りましたので、今更、何か改革しようとか、すごい野心を持っているわけではありません。しかし、今のロータリークラブがいいという愛着のある反面、回り続けるロータリーの歯車のように何時まで経っても楽しいロータリークラブにしたいという思いもあります。

私の見るところ、我がクラブは魅力的な人が多いです。ロータリアンだけに限ら

ず、その奥様、子ども達、社員等、まわりの関係者の方達もそうです。ですからそんな方々を背負っているロータリアンが魅力がないはずがないのです。

私は弁護士としての直感から、我がクラブのメンバーの中にはその魅力を十分に発揮していない人が多いんじゃないだろうかと感じています。この自分たちの潜在的な魅力や個性（それこそ知と稚と痴の総合芸術）を十分に表に出していただき発揮していただければ、もっと楽しいロータリーライフが出来るんじゃないだろうかと思います。

私に多分欠けているのは指導力ではないかと思っています。私が何を求めているかを考えてくれるのもありがたいですが、皆さん自身がその個性、能力、魅力をお互い発見して発揮しあえば、次から次へとアイデアと活動の輪が広がり、自ずとロータリーの歯車は回っていくと思っています。

これから、1年間どうぞよろしくお願いします。

福岡南ロータリークラブ 歴代の会長・幹事まとめ

	会 長	幹 事	例 会 場
昭和 32 年	関本 賢一	永野 勇	昭和 32 年 2 月 電気グリル時代
33 年	(同上)	(同上)	
34 年	三宅 重徳	田中 義男	
35 年	川上 亀朗	元村 八洲士	
36 年	具島 勘三郎	田所 良之	
37 年	永野 勇	久慈 直正	
38 年	木元 規矩男	可児 毅	
39 年	柴田 九万彦	山田 大助	
40 年	宮田 秀介	中牟田 栄蔵	
41 年	元村 八洲士	角 利一	
42 年	小山 喜一	渡辺 与三郎	
43 年	塚本 赴夫	有本 巖夫	
44 年	広田 藤七郎	菱山 博文	
45 年	青木 健一	吉村 重敏	
46 年	古賀 秀夫	井上 廉	
47 年	山中 唯二	金子 宜嗣	
48 年	鹿取 忠次	三好 堯	
49 年	関 治良吉	熊井 潔	
50 年	柴田 義雄	波多野 東一	昭和 51 年 12 月 博多全日空ホテル時代
51 年	藤城 藤四郎	谷 安行	
52 年	山田 大助	大庭 耕一郎	
53 年	渡辺 与三郎	大賀 礼太郎	
54 年	増田 友治	辰元 福夫	
55 年	有本 巖夫	牧之内 繁男	
56 年	菱山 博文	古賀 秀策	

	会 長	幹 事	例 会 場
57年	荒木 新一	大黒 隆博	昭和51年12月 博多全日空ホテル時代
58年	杉 静男	首藤 孝造	
59年	三島 庄一	村上 恵佑	
60年	佐野 馨	小幡 安男	
61年	大賀 礼太郎	吉田 純一	
62年	志賀 信男	古閑 甫	
63年	吉富 正常	古賀 健一	
平成元旦	田辺 俊明	瀨 好三郎	
2年	麻生 純三	吉田 隆治	
3年	安部 龍夫	森山 富夫	
4年	谷 安行	船木 陸雄	
5年	大屋 麗之助	田中 努	
6年	牧之内 繁男	田中 真昭	
7年	松井 敬介	小林 弘	
8年	大黒 隆博	忍田 進	
9年	金子 宜嗣	熊谷 信治	
10年	井上 賢太郎	三戸 道雄	
11年	大庭 耕一郎	野田 武太郎	平成18年10月 ホテルオークラ福岡時代
12年	小山 泰	戸崎 和夫	
13年	河原 剛	安部 光壺	
14年	岡部 信彦	久保 功	
15年	小幡 安男	青柳 泰秀	
16年	田中 浩二	永倉 成二	
17年	野田 尚武	伊東 秀志	
18年	村山 榮一	冬至 眞也	
19年	横田 豊	秋内 繁	
20年	田中 努	古山 正史	
21年	三戸 道雄	村上 修治	
22年	青柳 泰秀	安部 光壺	
23年	古賀 健一	阿波 欽治	
24年	船木 陸雄	占部 輝次	
25年	井上 雄介	渡邊 浩令	
26年	川原 正孝	八尋 太郎	
27年	永倉 成二	多川 一成	
28年	安部 光壺	増井 大輔	
29年	戸嶋 和夫	金子 幸生	